

今月のトピックス

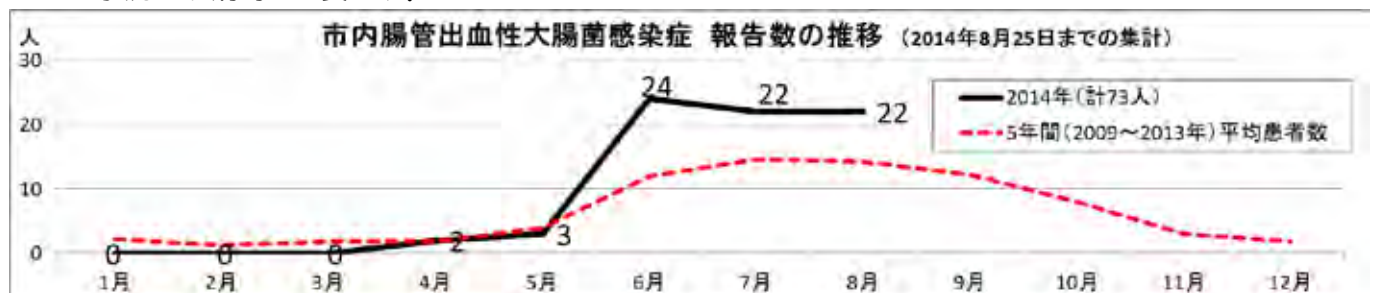
1 腸管出血性大腸菌感染症の報告が多い状況が続いています。

全数把握の対象

【8 月期に報告された全数把握疾患】

細菌性赤痢	1 件	急性脳炎	1 件
腸管出血性大腸菌感染症	22 件	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 件
マラリア	1 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 件
レジオネラ症	5 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)	2 件
アメーバ赤痢	2 件	破傷風	2 件
ウイルス性肝炎	1 件		

- 細菌性赤痢: *Shigella sonnei*(D 群)の報告が 1 件あり、渡航先(エジプト)での感染が推定されています。
- 腸管出血性大腸菌感染症: 計 22 件(O157VT1VT2 14 件、O157H7VT1VT2 1 件、O157VT2 3 件、O157VT 不明 1 件、O121VT2 2 件、O112VT1 1 件)の報告がありました。焼肉店での喫食を原因とするものや、家族内での 2 次感染によるもの等が報告されています。今年の報告数は、6 月から過去 5 年間の平均を上回る状態が続いています。9 月にかけても例年報告が多いため、肉は十分に加熱(中心部まで 75 で 1 分間以上加熱)し、食品はよく洗い新鮮な材料を使うなど予防対策が重要です。家庭内での 2 次感染予防では、手洗いをしっかりと行い、下痢症状がある人は専用のタオルを使用し、トイレは常に清潔に掃除して、ドアノブ・水洗レバー・電気のスイッチなど手の触れるところは、特に念入りにきれいにすることが大切です。全国的には毎年保育施設における集団発生が多くみられており、オムツ交換時の手洗い、園児に対する排便後・食事前の手洗い指導の徹底が重要です。また、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要があります。さらに、過去には動物とのふれあい体験での感染と推定される事例も報告されており、動物との接触後の十分な手洗いや消毒も重要です。



- マラリア: 三日熱マラリアの報告が 1 件あり、渡航先(インド)での感染が推定されています。
- レジオネラ症: 肺炎型 5 件の報告がありました。現在感染経路等調査中です。
- アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症 2 件の報告があり、1 件は日本での感染が推定されていますが感染経路等不明、もう 1 件は感染経路感染地域等不明でした。
- ウイルス性肝炎: 1 件の B 型肝炎の報告があり、国内での異性間性的接触による感染が推定されています。
- 急性脳炎: 40 歳代の報告が 1 件ありました。病原体検索中です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 30 歳代の報告が 1 件あり、血清型は A 群(国内の統計では、本症の起原菌は A 群が最も多く報告されています。)です。創傷感染が推定されています。
- クロイツフェルト・ヤコブ病: 1 件の古典型 CJD の報告があり、診断の確実度はほぼ確実です。
- 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む): 無症状病原体保有者 2 件の報告がありました。どちらも国内での同性間性的接触による感染でした。
- 破傷風: 2 件の報告がありました。1 件は 90 歳代で転倒による外傷からの感染が推定されています。もう 1 件は 70 歳代で感染経路等不明です。

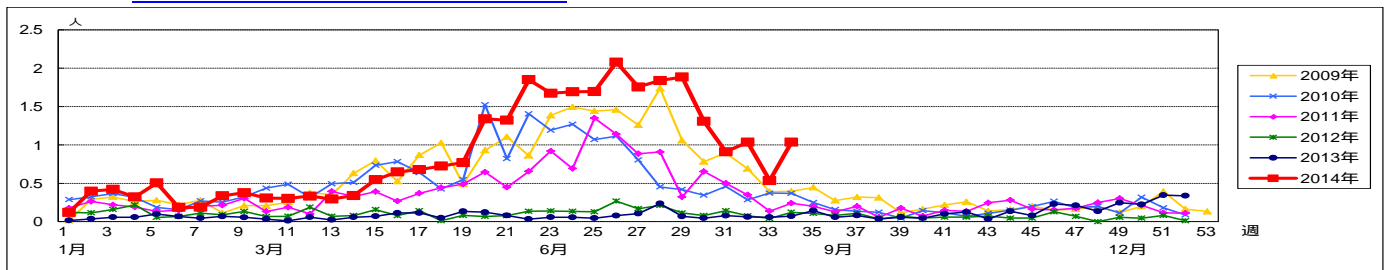
定点把握の対象

平成 26 年 週 - 月日対照表	
第 31 週	7 月 28 日 ~ 8 月 3 日
第 32 週	8 月 4 日 ~ 10 日
第 33 週	8 月 11 日 ~ 17 日
第 34 週	8 月 18 日 ~ 24 日

- 1 **伝染性紅斑**: 第 34 週は市全体で定点あたり 1.04 と、第 33 週 0.54 からやや増加しましたが、全体的には流行のピークは過ぎつつあります。しかし、緑区 2.80 など、報告の多い区もあり、もう少し注意が必要です。

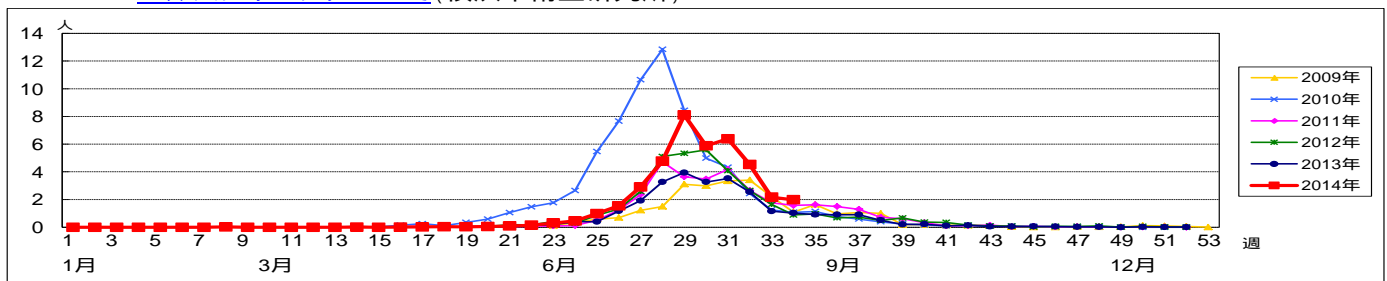
[伝染性紅斑について](#) (国立感染症研究所)

[横浜市感染症臨時情報: 伝染性紅斑](#)

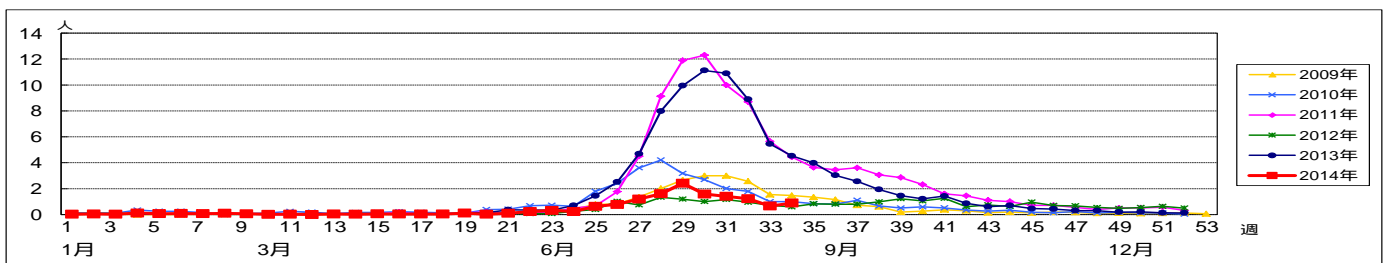


- 2 **ヘルパンギーナ**: 第 34 週は市全体で定点あたり 1.99 となり、流行のピークは過ぎつつあります。しかし、神奈川区 4.00 などと報告の多い区もあり、もう少し注意が必要です。感染予防では、患者との密接な接触を避け、流行時にうがいや手洗いをしっかりと行うことが重要です。特に患児のおむつを替えた後などは、よく手を洗いましょう。

[ヘルパンギーナについて](#) (横浜市衛生研究所)



- 3 **手足口病**: 第 34 週は市全体で定点あたり 0.89 となっています。区別では、港南区 3.25 などと報告の多い区もあり、もう少し注意が必要です。



- 4 **性感染症**: 7 月は、性器クラミジア感染症は男性が 29 件、女性が 13 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 7 件、女性が 9 件です。尖圭コンジローマは男性 4 件、女性が 1 件でした。淋菌感染症は男性が 17 件、女性が 0 件でした。
- 5 **基幹定点週報**: マイコプラズマ肺炎は第 31 週 1.00、第 32 週 0.33、第 33 週 0.67、第 34 週 1.00 と報告が多くなっています。週当たりの報告が 1.00 以上となるのは 2013 年第 52 週以来です。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎の報告はありませんでした。
- 6 **基幹定点月報**: 7 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 3 件の報告がありました。薬剤耐性緑膿菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>